

平成20年度農業競争力強化対策民間団体事業交付決定団体一覧

| | 提案課題名 | 事業内容 | 事業実施主体 | 予定事業費 (千円) | うち、国費 (千円) | 交付決定年月日 |
|----|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------|---------------|------------|
| 1 | 農林水産知的財産発掘・活用促進事業 (農林水産知的財産の流通手法の開発) | 農林水産業の知的財産の円滑な活用を図るための事業運営委員会の開催や農林水産業の現場の技術・ノウハウ等を管理・許諾し、流通させる手法の開発・実証等を行う。 | (社)農林水産技術情報協会 | 22,801 | 22,801 | 平成20年5月15日 |
| 2 | 農林水産知的財産発掘・活用促進事業 (農林水産知的財産情報の集積・提供) | 農林水産分野の特許等の活用事例の調査、農林水産分野の知的財産情報の集積、農林水産分野の知的財産情報の活用のためのホームページの運営と検索システムの開発等を実施する。 | (社)農林水産技術情報協会 | 33,818 | 33,818 | 平成20年5月15日 |
| 3 | 農林水産分野知的財産人材育成総合事業 (農林水産分野における知的財産に係る人材育成) | 農林水産分野における知的財産に係る人材育成のための研修の検討・調整等を行う事業検討委員会の開催や地域ブランドや生産現場における知的財産の活用を中心とした地方公共団体の行政担当者、農協の営農指導員、関連企業等向けの研修等を実施する。 | (社)農林水産先端技術産業振興センター | 12,512 | 12,302 | 平成20年4月30日 |
| 4 | 農林水産分野知的財産人材育成総合事業 (普及指導員向けの専門研修の実施等) | 普及指導員を対象に、育成者権を中心とした権利取得や権利侵害等に重点をおいた専門研修を実施するほか、普及指導員が育成者権を取り扱う際のマニュアルの作成や生産現場で生じた知的財産に関する疑問・質問に対応する普及指導支援窓口を運営する。 | (社)全国農業改良普及支援協会 | 14,275 | 14,275 | 平成20年5月12日 |
| 5 | 飼料対策推進事業 | 飼料自給率の向上に向けた自給飼料の増産を推進するため、飼料増産の啓発のための会議の開催や飼料生産利用技術の確立・普及及び優良品種の選定・普及に関する検討・調査を行うための会議の開催、高能力品種の育成・普及等及び輸入とともこし種子の検査のための条件整備の推進、公共牧場の効率的利用を推進するための会議の開催及び調査・指導等を行う事業とする。 | (社)日本草地畜産種子協会 | 88,737 | 88,737 | 平成20年5月29日 |
| 6 | 家畜改良増殖対策推進事業 | 家畜改良増殖対策推進のため、乳用牛改良体強化、乳用牛群検定普及定着化、乳用種雄牛後代検定の推進、肉用牛改良増殖の推進及び豚改良増殖の推進を行う。 | (社)家畜改良事業団 | 155,906 | 155,906 | 平成20年5月8日 |
| 7 | 家畜改良増殖対策推進事業 | 繁殖雌牛群の能力向上等のために必要とされる情報を的確に分析し円滑な提供を図るため、繁殖雌牛情報の処理分析等を行う。 | (社)中央畜産会 | 3,883 | 3,883 | 平成20年5月30日 |
| 8 | 畜産新技術実用化対策推進事業 | 和牛の優れた形質について、評価指標の開発、遺伝子の特定及び機能解析を行うとともに、和牛遺伝子特許の取得及び活用を推進するための協議会の開催を行う。 肉用牛及び乳用牛の遺伝性疾患等について、遺伝子の特定、情報の収集分析、全国的な検討会の開催及び技術者の養成を行う。 | (社)畜産技術協会 | 351,245 | 351,245 | 平成20年5月15日 |
| 9 | 畜産新技術実用化対策推進事業 | 畜産経営から飼養管理等情報を効率的に収集し、飼養管理等情報データベースの構築を支援するとともに、飼養管理等情報の検索システムの構築及び地方個体管理情報に関する既存システムと共有させるモデル実施を行う。 | (社)家畜改良事業団 | 180,989 | 180,989 | 平成20年5月8日 |
| 10 | 日本茶品質管理認証システム構築事業 | 国内外の消費者から評価され、かつ生産者、加工・流通業者等が容易に取り組みめる日本茶(緑茶)の品質管理認証システムを構築・普及するため、システム構築のためのシステム開発委員会の開催、構築した品質管理システムの検証のためのモニタリング調査の実施、認証の手法及び体制についての検討を行うとともに、システム普及のための説明会の開催等を行う。 | (社)日本茶業中央会 | 19,300 | 19,300 | 平成20年5月8日 |
| 11 | 和牛精液等流通管理体制構築推進事業(地域段階のモデル構築) | 和牛遺伝資源の保護・活用を図るため、和牛精液ストロー等の流通管理の厳格化を図りつつ、地域段階において利便性があるモデルシステムの開発(バーコード利用) | (株)十勝家畜人工授精所 | 23,284 | 23,284 | 平成20年5月29日 |
| 12 | 和牛精液等流通管理体制構築推進事業(地域段階のモデル構築) | 和牛遺伝資源の保護・活用を図るため、和牛精液ストロー等の流通管理の厳格化を図りつつ、地域段階において利便性があるモデルシステムの開発(μチップ利用) | 国立大学法人 京都大学 | 27,000 | 27,000 | 平成20年5月29日 |
| 13 | 和牛精液等流通管理体制構築推進事業(全国的な普及のための取組) | 和牛遺伝資源の保護・活用を図るため、和牛精液ストロー等の流通管理の厳格化を図りつつ、全国的な普及のための各地域モデルとの互換性を持った全国システムの開発。 | (社)家畜改良事業団 | 27,627 | 27,627 | 平成20年5月8日 |
| 14 | 畜産生産基盤育成強化対策推進事業 (畜産経営の担い手育成に向けた経営継承促進等) | 畜産経営の担い手を育成するため、経営改善計画の作成等に係る調査・指導、畜産経営の経営承継者等に対する研修会の開催、調査、財務管理指導等を行う。 | 全国農業協同組合中央会 | 102,786 | 62,652 | 平成20年4月30日 |
| 15 | エコフィード推進対策事業 | エコフィード(食品残さ飼料化)の全国的な普及を図るため、エコフィードの利用促進を図るための認証制度の創設、食品関係団体等との連携によるエコフィードの利用及び需給実態調査の実施、ネットワークの構築、食品産業関係者、生産者、消費者等の関係者の理解の醸成を目的とした普及・啓発等を行う事業とする。 | (社)中央畜産会 | 27,216 | 27,216 | 平成20年5月30日 |
| 16 | 畜産生産基盤育成強化対策推進事業 (畜舎建築に係る関連基準の検討) | 畜舎等の建築コストを低減するため、畜舎建築に係る関連基準等の検討、建築部材の構造・強度等に係る調査、試験、畜舎設計に係る指導資料の作成等を行う。 | (社)中央畜産会 | 16,967 | 16,967 | 平成20年5月30日 |

平成20年度農業競争力強化対策民間団体事業交付決定団体一覧

| | 提案課題名 | 事業内容 | 事業実施主体 | 予定事業費 (千円) | うち、国費 (千円) | 交付決定年月日 |
|----|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------|------------|
| 17 | 畜産生産基盤育成強化対策推進事業 (畜産経営の担い手育成に向けた経営支援の推進等) | 畜産経営を支援するため、専門家集団の組織化・派遣、地域活性化に貢献するリーダー的経営者の研修会等の開催等を行う。 | (社)中央畜産会 | 149,113 | 149,113 | 平成20年5月30日 |
| 18 | 畜産生産基盤育成強化対策推進事業 (畜産経営の担い手育成に向けた情報提供・消費者との交流の推進等) | 消費者ニーズに対応した畜産物の生産と畜産経営の担い手育成を推進するため、各種情報の提供等を行う。 | (社)中央畜産会 | 84,847 | 84,847 | 平成20年5月30日 |
| 19 | いくさ・豊表産地改革推進事業 | いくさ・豊表等に関して生産者及び実需者等が参加する会議を開催するとともに、国内外における情報収集及び調査分析を通じて国産及び外国産豊表の生産状況並びに国内の需要量を把握する。また、需要拡大を図るため消費者に対し豊の機能性についての情報提供等の啓発活動等を行う。 | (財)日本特産農産物協会 | 9,823 | 9,823 | 平成20年7月3日 |
| 20 | 地産地消普及促進事業 | 地産地消活動についての情報の収集・調査・分析を行い、これらの成果を全国各地へ提供するとともに、地産地消推進者の認証・派遣を行う。 | (財)日本特産農産物協会 | 8,159 | 7,109 | 平成20年7月3日 |
| 21 | 地産地消情報提供事業 | 地産地消の取組を推進するため、地産地消の情報の収集及び提供並びに地産地消関係者等の情報交換の場づくりについて検討し、インターネットを活用した情報提供等を行う。 | (社)農山漁村文化協会 | 4,213 | 4,213 | 平成20年5月15日 |
| 22 | 地産地消人材育成事業 | 地産地消活動を円滑に推進するため、生産と実需の知識を有し、関係者を束ねるリーダーシップを持ったコーディネーターを育成するための講習会を開催する。 | (社)農山漁村女性・生活活動支援協会 | 1,958 | 1,894 | 平成20年5月15日 |
| 23 | 生乳流通対策推進事業 | より精緻な需給見通しを作成するために必要な地域の生産動向、消費者の嗜好性等の調査を行い、それらに基づく需給見通しの検討・作成等を行う。また、広域的な生乳流通によるコスト低減を図るために必要な検査方法の統一を行うため、乳成分等の統一な検査方法の検討、マニュアルの作成、研修会の開催等を行う。 | (社)中央酪農会議 | 70,266 | 35,129 | 平成20年5月7日 |
| 24 | 加工・業務用対応型園芸作物生産流通拡大事業(野菜) | 加工・業務用における国産野菜の安定供給体制の確立を図るため、生産現場での品種比較・栽培管理方法等の実証試験、契約取引に取り組む人材育成のための研修会等を実施する。 | (社)日本施設園芸協会 | 43,757 | 43,757 | 平成20年6月17日 |
| 25 | 加工・業務用対応型園芸作物生産流通拡大事業(果実) | 加工・業務用における国産果実の安定供給体制の確立を図るため、実需者に求められる果実の特性・条件及びその安定供給に対応するための産地の事例・課題の調査、セミナー等による国産果実の加工・業務用への利用拡大に向けた普及・啓発、加工適応性の高い果実を安定生産するための多収・省力型栽培技術の実証・確立を行う。 | (財)中央果実生産出荷安定基金協会 | 10,000 | 10,000 | 平成20年5月16日 |
| 26 | やさしい・くだもの栄養成分情報提供推進事業 | 青果物の栄養成分表示のガイドライン策定により、栄養成分等に特徴ある野菜及び果物の生産拡大及び消費者の求める情報の提供を推進する。 | (財)食生活情報サービスセンター | 50,000 | 50,000 | 平成20年5月16日 |
| 27 | 花きを暮らしに取り込む活動等推進事業 | 花きを暮らしに取り込む活動等の推進のため、花のあるライフスタイルの提案や花による生活向上のモデル的取組の普及、花きの生産・出荷者と小売業者等との連携強化の促進等を行う。 | (財)日本花普及センター | 25,657 | 25,650 | 平成20年5月9日 |